

11月の園だより

令和5年11月1日

目黒区立八雲保育園 園長

自分の感じ方で楽しむ遊び

寒暖差があるこの時期ですが、金木犀の甘い香りが朝と夕の肌寒さを和らげてくれるようです。先月には、八雲小学校校庭を初めてお借りして運動会を開催しました。4年ぶりに入場制限もなくなり、たくさんの方にご来場いただきました。感想を直接お話しして下さった保護者の皆様からは「小さなクラスの競技を見て、改めて我が子の成長を感じました」「その場にいるみんなで、一つのことを応援したり感動したり、運動会ってこういうところが良かったと思い出しました」などの言葉をいただき、改めて運動会を開催する意味を感じました。そのあとも子どもたちの運動会ごっこは園庭や散歩先で続いています。大きいクラスのかげっこに刺激を受けた1, 2歳児は、庭に出ると友達と一緒に「よーいどん」と並んで追いかげっこを楽しんだり、4歳児は「しろくま組さん（5歳児）みたいに短縄で走り縄跳びしたい」と友達と縄の持ち方や跳ぶタイミングを「こうかな」と試したりしながら遊んでいます。当日までの取り組みで終わってしまうのではなく、日々の遊びの先に行事があるそれは、続いていくのだと考えています。子どもたち一人ひとりには好きなことがあって「自分がしたいこと」を遊びながら色々な方法で表現しています。玄関には5歳児が「芋掘り」をした作品が飾られています。満足そうに掘り上げた瞬間を描く児、掘っても掘っても途切れない芋のつるを紐で何本も張り付けている児とさまざまです。「これね、ここが難しかったんだ」と自信をもって家族へ伝えている児がいました。一人ひとりがその兒らしく表現することを遊びの中で大切にしていきたいと思います。

来月には「わくわく発表会」があります。友達と楽しみながら自分が好きな表現遊びをお見せします。職員一同、保護者の皆様と共有できることを楽しみにしていますので是非、ご来園ください。

11月の行事予定

歯科検診（全園児）
芋汁会（3・4・5歳児）
交通安全教室（5歳児）
身体計測 避難訓練

12月の行事予定

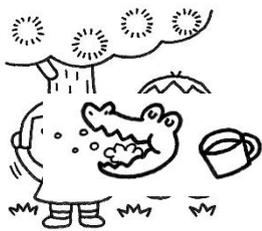
わくわく発表会（3・4・5歳児）
身体計測 避難訓練

～冬を元気に過ごすために～



本格的に気温が冷え込む冬を前に、健康管理についてお知らせします。子どもはまだ免疫力が十分ではなく、感染症が重症化してしまうケースも珍しくありません。多くの感染症は、病原体が目や鼻、口などの粘膜から体内に侵入し感染します。あまり知られていませんが、感染症は口の中の状態も大きく関与します。ウイルスが体内に侵入しにくい状態にするために「うがい」「手洗い」などの標準的な予防策に加えて“口の中を清潔に保つこと”もとても大切です。

保育園では、食後のぶくぶくうがいを取り入れたり、歯磨きの健康教育を行い歯磨きカレンダーを配ってご家庭での歯磨き習慣を意識できるよう働きかけています。子どもたちは歯磨きをすると色を塗ることができる歯磨きカレンダーを楽しんで実践してくれているようで「先生、今日は磨いてきたよ!」「今日は忘れちゃった～」など看護師に話してくれる姿が増えました。ご家庭でも、寝る前に親子で歯磨きをゆっくり行ったり、スキンシップを兼ねて仕上げ磨きをしっかり行うなど、口の中をきれいに保ちながらみんなで元気に冬を過ごしましょう。



お外で遊ぶの大好き

めだか組（0歳児クラス）

パーシモンひろばへ行くと、自分から歩いたりハイハイで探索し始めます。保育士が落ち葉を拾い子どもたちに「葉っぱあったね」と言って上からヒラヒラと落としてみるとにっこりと笑い、手を伸ばしながら落ちていく様子を眺めています。子どもたちも真似して落ち葉を拾い、手に持ってじーっと眺めたり手ですくって放ってみたり、それぞれに楽しむ姿が見られました。子どもたちが広い場所で思い切り体を動かしたり、自然の不思議さを感じられたりするように子どもの目線に合わせて、様々な発見に寄り添いながら、一緒に楽しんでいきます。



あひる組（1歳児クラス）



園庭に出ると、前日に3、4、5歳児クラスが作った大きな山がありました。すぐに気づいた子どもたちは「わー、お山だー！」と目を輝かせています。保育士が「もっと大きくしよう」とスコップで砂をかけると、子どもたちもスコップを持ってきて同じように砂をかけ始めました。その様子を見ていた他の子どもたちも仲間入りし、手でぎゅっぎゅっと山の斜面を固めたり、白砂を持ってきてかけたり、掘ってあった水路を道路に見立てて車の玩具を走らせたりしています。それぞれが満面の笑みを浮かべながら夢中になって遊んでいました。これからも一人ひとりのやりたい遊びを大切に、満足するまで楽しめるようにしていきたいと思います。

らっこ組（2歳児クラス）

子どもたちは園庭に出ると「先生、虫さん探そう」とスコップとボウルを持ってきて、花壇周りの土を掘りだします。探しているとカナブンの幼虫を発見しました。スコップで幼虫を取り、持ってきたボウルの中に入れて友達と一緒に見えています。幼虫が動いているのを見て「お尻をくねくねしているね」と自分のお尻も一緒にくねくねしたり、実際に触ってみて「ぷにぷにしているね」とそれぞれが自分の楽しみ方で観察していました。様々な昆虫を観察したり触れたり飼育したりする機会を作りながら、子どもたちの自然との関りや興味関心を深めていきます。

